

[okazaki_118]

活動タイトル	石狩市立南線小学校・総合学習「パリ協定と世界の現実について」
実施日	2019年12月9日
場所	石狩市立南線小学校（石狩市）
対象数	148人
内容	<p>総合学習「私の暮らしに大切なもの～エネルギーはどこから～」の6コマ目として実施。「パリ協定と世界の現実について」というタイトルで、「世界では開発と環境保全のバランスをとるためのルール（CO₂削減に関する）、パリ協定がつけられたことを知り、開発と環境保全の間でゆれ動く世界の国々の動向についてわかる。」というねらいに沿った内容となるよう工夫しました。</p> <p>配布資料として、授業のまとめとなる10問のクイズの回答を書き込む欄とメモ欄、「へえ！と思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」を記載する欄を設けたA4のワークシートを用意しました。</p> <p>4コマ目の授業も担当していたので、「とても上手にメモがとれる人が多くてびっくりしたこと」「へえ！と思ったことや調べたいと思ったことがしっかり書かれていて感心したこと」を伝えてから授業に入りました。児童たちは、前の時間に「ガバチョ」という環境と経済の両立について体験するボードゲームを行っていたので、その感想を聞くことを導入としました。伝えた内容は、以下のようなものです。</p> <ul style="list-style-type: none">・COP25についてと、グretaさんや世界の若い人たちが、大人や政治家に対して地球温暖化に真剣に取り組むように要望していること・二酸化炭素の排出総量が気温上昇に関わっていること・COP25で日本が化石賞をもらったこと、同時に受賞したオーストラリアやブラジルでは森林火災が起きていること、森林の役割、木でできた物を長く使うことも温暖化防止に役立つこと・日本の削減目標とクールチョイスや省エネ家電について・宅配便を1回で受けとろうキャンペーンが行われていることと、自動車のCO₂排出量が多いこと・グリーン電力を使っている商品があること・世界では、再生可能エネルギー100%を目指す企業（RE100）が増えていること・RE100企業の一つ、コープさっぽろさんの話を、次回の授業で聞くことになっていること <p>それぞれのテーマの前にクイズを出して、それに関する話をするという展開にしました。</p> <p>子どもたちからの質問も出ました。「木が炭素を固定するということだが、どのくらいの大きさだと効果があるか？」「地球上に二酸化炭素が全くないとどうなるか？」「私たちにできることにはどんなことがあるか？」など。</p> <p>最後に、一人の児童に「へえ！と思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」を発表してもらい、授業を終了しました。</p> <p>ワークシートのメモ欄にも、たくさんのメモが書かれていました。イラスト入りで、と</p>

でもわかりやすくまとめられていたり、裏面までびっしり書かれていたりするものもあり、感心しました。

「へえ！と思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」にも、たくさんの記載がありました。「冬は、夜の方が長いけど、植物は、CO₂を朝より出さないのかな？」「グリーン電力を使っているマークは、全然見たことがなかったから勉強になったし、詳しく調べてみたいと思った。パリ協定のことについて詳しく調べてみたくなった。」「知りたいこと：もし、地球温暖化で、雪が降らなくなったら、日本の四季はなくなってしまうのか？」「水をきれいにするためにCO₂が出る→節水！省エネの五つ星は、こんど家電を見たときに見つけてみようと思った。」「COOL CHOICEを調べる！（初めて聞いた！カッコイイ！）車から出るCO₂はどれぐらいか？」など、疑問を持ち、自分で調べていこうという気持ちを、少しは引き出す授業とできたようで良かったと思いました。

また、国や企業の取組については、ポジティブなことを伝えるように心がけました。その結果、「CO₂を減らすのはむずかしいけど、たくさんCO₂を減らそうとしている国や企業があるということがわかったので、これから、自分もCO₂を減らす運動をしていきたいと思いました。」「再生可能エネルギー100%にするぞという会社の中にイオン、COOP、LIXIL、SONY、ダイワハウス、セキスイハウスが入っているのにビックリしました。あとFUJITSU」など、世界の国々や前向きな企業の取組に目を向けた記載が多くありました。

（短い時間の中だったのによく覚えていたなあとびっくりしました。）

子どもたちの質問については、深く考えなくては適切な回答ができないものが多く、知識と瞬発力が必要だと感じました。この点は、今後の課題として研鑽^{けんさん}を積んでいきたいと思います。

実施写真等

